

# 2015年3月期 決算補足資料

1. 決算概観	P.1
2. 業績のポイント(対前年)	P.2
3. 業績の状況	P.3
4. 主要製品売上の状況	P.4
5. 主な子会社の業績と予想	P.5
6. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況	P.6
7. 開発品一覧	P.7~8
【参考資料】	
8. セグメント情報	P.10
9. 損益計算書の概要	P.11~12
10. 貸借対照表の概要	P.13
11. 主な業績項目の推移	P.14
12. 2015年3月期実績と2016年3月期予想	P.15
13. 杏林製薬(単体)資料	P.16~19

2015年5月13日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



# 2015年3月期 決算概観(連結)

(単位:百万円)	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期	前年比	16年3月期 (予想)	前年比
売上高	103,232	107,031	111,400	113,121	+1.5%	120,200	+6.3%
営業利益	14,464	17,948	17,607	14,737	-16.3%	16,000	+8.6%
経常利益	15,275	18,676	18,281	15,490	-15.3%	16,300	+5.2%
当期純利益	9,231	12,422	12,025	12,064	+0.3%	11,500	-4.7%
1株当たり 当期純利益(円)	123.54円	166.25円	160.95円	161.63円	+0.3%	155.51円	-4.7%
総資産	145,673	154,968	169,378	183,383	+8.3%	—	—
純資産	118,201	129,099	137,821	148,600	+7.8%	—	—

## 2015年3月期 連結業績(実績)

**【売上高】** 喘息治療配合剤「フルティフォーム」の大幅な売上拡大、および主力製品の伸長はありましたが、薬価改定、後発医薬品の使用促進策等の影響により、新医薬品事業の売上は前年に対して減少しました。他方、後発医薬品事業の売上が前年を大幅に上回る実績で推移したことから、売上高は1,131億21百万円(前年比1.5%増)と増収になりました。

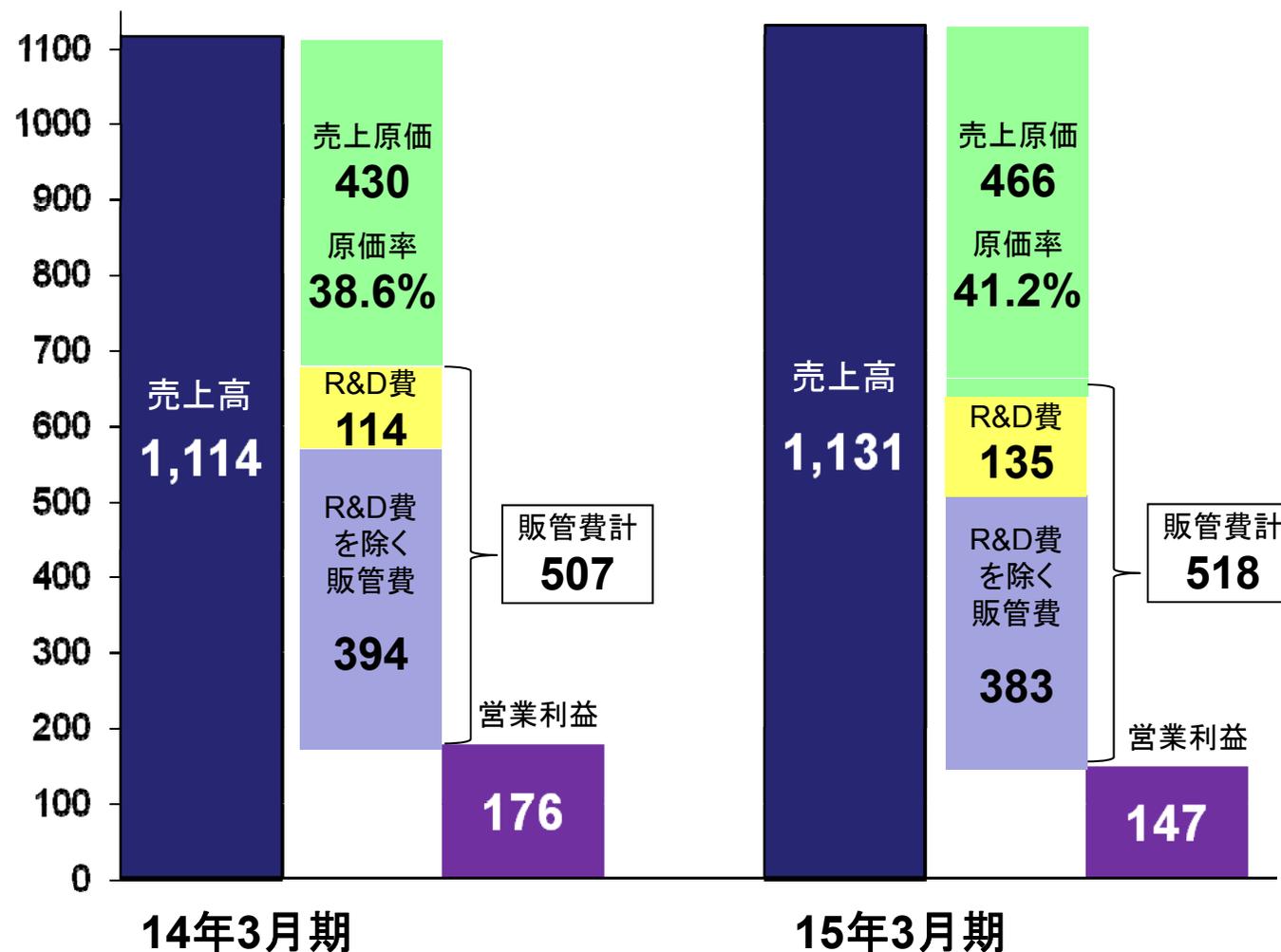
**【利益】** 薬価改定の影響、医薬品事業における製品の売上構成の変化等により、原価率が上昇し、売上総利益は前年に対して18億29百万円減となりました。販売費及び一般管理費は、販売費等の削減に努めましたが研究開発費が増加したため、全体として前年に対して増加し、営業利益は147億37百万円(前年比16.3%減)となりました。当期純利益は特別利益を45億05百万円、特別損失を24億34百万円計上したため、120億64百万円(前年比0.3%増)となりました。

## 2016年3月期 連結業績(予想)

**【売上高・利益】** 売上高は「フルティフォーム」の売上拡大、後発医薬品のさらなる売上増加等により増収となる見通しです。利益面では販売費及び一般管理費は増加する見込みですが、売上高の増加により売上総利益も増加し、増益となる見通しです。その結果、売上高は1,202億円(前年比6.3%増)、営業利益は160億円(前年比8.6%増)、経常利益は163億円(前年比5.2%増)、当期純利益は115億円(前年比4.7%減)を見込みます。

# 2015年3月期 業績のポイント(対前年)

(単位:億円)



## 【ポイント】

- 売上高は前年比17億円増
  - ・フルティフォーム、キプレスの増加
  - ・長期収載品の売上減少
  - ・後発医薬品の売上増加
- 売上原価額は36億円増  
(売上原価率は2.6%上昇)
  - ・薬価改定の影響
  - ・製品売上構成の変化  
(含む後発医薬品の売上ウエイト上昇)
- 売上総利益は前年比19億円減
- 販管費は前年比11億円増
  - ・R&D費は21億円増
  - ・販管費(R&D費除く)は11億円減
- 営業利益は前年比29億円減

# 2015年3月期 業績の状況

(単位:億円)

	14年3月期 (実績)	15年3月期 (実績)	対前年
売上高	1,114	1,131	+17
医薬品事業	1,097	1,118	+21
◆新医薬品	935	921	-14
○国内	917	911	-6
○海外	18	10	-8
◆後発医薬品	120	155	+35
◆一般用医薬品他	42	42	0
ヘルスケア事業 (スキンケア)	17	13	-4
営業利益	176	147	-29
経常利益	183	155	-28
当期純利益	120	121	+1

※国内新医薬品にキョーリン製薬グループ工場の売上を含みます

## ■配当

52円00銭/株(うち、中間配当20円/株)、配当性向32.2%

		(対前年)	(対予想)
■売上高	1,131億円	(+ 17)	(+ 14)
◆医薬品事業	1,118億円	(+ 21)	(+ 18)
●国内新医薬品	911億円	(- 6)	(+ 14)
	14.3 実績	15.3 実績	
・キプレス	402	⇒ 412	(+10) ( +10)
・ムコダイン	184	⇒ 140	(-44) ( + 2)
・ペンタサ	186	⇒ 172	(-14) ( + 5)
・ウリトス	81	⇒ 73	(- 8) ( - 2)
・フルティフォーム	6	⇒ 36	(+30) ( - 3)
●海外新医薬品	10億円	(- 8)	( 0)
・ガチフロキサシン	15	⇒ 6	(- 9) ( + 1)
●後発医薬品	155億円	(+ 35)	(+ 5)
<small>自販および他社受託ビジネスによる売上増</small>			
●一般用医薬品他	42億円	( 0)	( 0)
◆ヘルスケア事業(スキンケア)	13億円	(- 4)	(- 3)
■営業利益	147億円	(- 29)	(+ 9)
◆営業利益率は13.0%と前年比2.8ポイント低下			
●原価率:前年比2.6ポイント上昇 (38.6%⇒41.2%)			
<small>薬価改定(杏林製薬:本体薬価ベース6%台)、製品売上構成の変化(含む後発品の売上ウェイト上昇)</small>			
●研究開発費率:前年比1.7ポイント上昇 (10.2%⇒11.9%)			
* 21億円増加(114億円⇒135億円)			
<small>(KRP-114V契約一時金、開発パイプラインの進展)</small>			
●販管費率(除くR&D費):前年比1.6ポイント低下 (35.4%⇒33.8%)			
* 11億円減少(394億円⇒383億円) 販売費等の減少			
■当期純利益	121億円	(+ 1)	(+ 5)

・特別利益:杏林製薬旧本社ビルの土地・建物の譲渡に関わる利益を約45億円計上  
 ・特別損失:杏林製薬研究開発拠点の集約に伴う創業研究所に関わる減損損失等を約24億円計上

# 2015年3月期 主要製品売上の状況

(単位:億円)

		11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期		16年3月期 (予想)
						実績	前同比(%)	
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	345	368	396	402	412	+2.7	418
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	213	215	191	184	140	-23.7	118
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	194	180	176	186	172	-7.4	171
	ウリトス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	55	63	75	81	73	-9.5	79
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	40	34	30	28	21	-25.5	17
	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	—	—	—	6	36	+518.9	103
海外 新医薬品	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	22	17	16	15	6	-57.8	4
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳びん・乳首消毒剤)	19	19	20	21	20	-3.2	20

# 主な子会社の業績と予想

(単位: 億円)

杏林製薬	14年3月期	15年3月期
売上高	977	985
営業利益	154	122
当期純利益	108	104

16年3月期(予想)
1,053
133
100

キョーリン リメディオ	14年3月期	15年3月期
売上高	124	164
営業利益	10	21
当期純利益	6	15

16年3月期(予想)
185
23
16

ドクタープログラム	14年3月期	15年3月期
売上高	18	14
営業利益	2	0
当期純利益	2	0

16年3月期(予想)
16
0
0

# 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況(連結) *Kyorin*

健康はキョーリンの願いです。

(単位:百万円)

	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期		16年3月期 (予想)
					実績	増減比	
研究開発費	12,495	13,964	11,059	11,359	13,514	+19.0%	13,400
設備投資	1,668	1,952	6,576	6,500	2,655	-59.2%	8,700
減価償却費	2,458	2,363	2,738	3,153	3,053	-3.2%	3,800

## 設備投資の詳細 (実績/予想)

(単位:億円)

	14年3月期 (実績)	15年3月期 (実績)	16年3月期 (予想)
工場設備	19	15	29
管理・販売設備	7	3	8
研究用設備	39	8	50

# 開発品一覧①(2015年5月13日現在)

## PhⅢ ~承認

※:前回(2015年3月期 第3四半期 2月2日発表)からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
※承認 (15年3月)	(欧州) アストラゼネカ社 : 上市(12年9月) (米国) アストラゼネカ社 : 上市(12年12月)	KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさなどの諸症状を改善する長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(アクリジニウム) ①全身性副作用が少ない ②1日2回投与により1日を通じて症状、呼吸機能改善 ③最大効果発現までの時間が短い ※吸入器: Genuairを使用	アルミラール社とライセンス契約 (11年2月)
PhⅢ (13年8月)	(欧州) アストラゼネカ社 : 上市(15年1月) (米国) アストラゼネカ社 : 申請準備中	KRP-AB1102F (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(LAMA: アクリジニウム)と長時間作用性 $\beta$ 2刺激薬(LABA: ホルモテロール)の配合剤	アルミラール社とライセンス契約 (11年2月)
PhⅢ (15年1月)	(米国、欧州、他) 米国メルク社 : PhⅡ終了	KRP-114V	過活動膀胱	米国 メルク社	膀胱の $\beta_3$ 受容体に作用する事で、膀胱弛緩作用を増強し、頻尿の改善が期待される	米国メルク社とライセンス契約 (14年7月)
※PhⅢ (15年4月)		KRP-AM1977X (経口剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社	①薬剤耐性グラム陽性菌(MRSAを含む)に対して優れた抗菌力 ②優れた体内動態(経口吸収、組織移行) ③前臨床試験で安全性はクリア、高い安全性を期待	

# 開発品一覧②(2015年5月13日現在)

## POCプロジェクト(Ph I ~Ph II)

※:前回(2015年3月期 第3四半期 2月2日発表)からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph II (11年8月)	Ph III メルツ社	KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	メルツ社とライセンス契約 (09年11月)
Ph II (13年3月)	Ph II (POC) (10年12月) ノバルティス	KRP-203	自己免疫疾患 臓器移植 IBD	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調節剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ノバルティスとライセンス契約 (06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月)
Ph II (14年6月)		KRP-AM1977Y (注射剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社	①薬剤耐性グラム陽性菌(MRSAを含む)に対して優れた抗菌力 ②優れた体内動態(経口吸収、組織移行) ③前臨床試験で安全性はクリア、高い安全性を期待	

## 参考

開発段階	一般名	薬効	特徴	備考
MSD(株)が開発中(Ph III)	デスロラタジン	アレルギー性鼻炎 蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒	第二世代ヒスタミンH1受容体拮抗薬	MSD(株)の関連会社と日本国内における共同販売契約を締結(14年11月)

# 参考資料

# 2015年3月期 セグメント情報

## 報告セグメントごとの売上高および利益

(単位:億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
合計	1,131	+17	147	-29
医薬品事業計	1,118	+21	146	-24
◆新医薬品	921	-14		
○国内	911	-6		
○海外	10	-8		
◆後発医薬品	155	+35		
◆一般用医薬品他	42	0		
ヘルスケア事業計	13	-4	0	-2
調整額	—	—	2	-3

(注)「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、報告セグメントは【医薬品事業】【ヘルスケア事業】としております

# 損益計算書の概要：連結①

(単位:百万円)

	14年3月期		15年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	111,400	100.0%	113,121	100.0%	+1.5	+1,721
医薬品事業	109,678	98.5%	111,771	98.8%	+1.9	+2,093
◆新医薬品	93,518	83.9%	92,111	81.4%	-1.5	-1,407
○国内	91,668	82.3%	91,079	80.5%	-0.6	-589
○海外	1,849	1.7%	1,032	0.9%	-44.2	-817
◆後発医薬品	11,987	10.8%	15,477	13.7%	+29.1	+3,490
◆一般用医薬品他	4,172	3.7%	4,183	3.7%	+0.3	+11
ヘルスケア事業	1,721	1.5%	1,349	1.2%	-21.6	-372

## <適応範囲及び持分法の適用について>

連結子会社8社： 杏林製薬(株)  
 Kyorin USA,Inc. Kyorin Europe GmbH  
 ActivX Biosciences,Inc.  
 キョーリン リメディオ(株)  
 キョーリン メディカルサプライ(株)  
 ドクタープログラム(株)  
 キョーリン製薬グループ工場(株)

持分法適用会社1社： 日本理化学薬品(株)

## <当期のポイント>

対前年

- 売上高 113,121百万円 (+1,721百万円)
- 国内新医薬品 91,079百万円 (-589百万円)
- |           |        |   |        |       |
|-----------|--------|---|--------|-------|
|           | 14.3実績 | ⇒ | 15.3実績 | (億円)  |
| ・キプレス     | 402    | ⇒ | 412    | (+10) |
| ・ムコダイン    | 184    | ⇒ | 140    | (-44) |
| ・ペンタサ     | 186    | ⇒ | 172    | (-14) |
| ・ウリトス     | 81     | ⇒ | 73     | (-8)  |
| ・フルティフォーム | 6      | ⇒ | 36     | (+30) |
- 海外新医薬品 1,032百万円 (-817百万円)
- |           |    |   |   |      |
|-----------|----|---|---|------|
| ・ガチフロキサシン | 15 | ⇒ | 6 | (-9) |
|-----------|----|---|---|------|
- 後発医薬品 15,477百万円 (+3,490百万円)
- \* 自販および他社受託ビジネスによる売上増
- 一般用医薬品等 4,183百万円 (+11百万円)
- ヘルスケア(スキンケア) 1,349百万円 (-372百万円)
- \* ドクタープログラムの売上減少

# 損益計算書の概要：連結一②

(単位:百万円)

	14年3月期		15年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	111,400	100.0%	<b>113,121</b>	100.0%	+1.5%	+1,721
売上原価	43,047	38.6%	<b>46,598</b>	41.2%	+8.2%	+3,551
売上総利益	68,352	61.4%	<b>66,522</b>	58.8%	-2.7%	-1,830
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	50,744 (11,359)	45.6% 10.2%	<b>51,785</b> <b>(13,514)</b>	45.8% 11.9%	+2.1% +19.0%	+1,041 +2,155
営業利益	17,607	15.8%	<b>14,737</b>	13.0%	-16.3%	-2,870
営業外収益	732	0.7%	<b>768</b>	0.7%	+4.9%	+36
営業外費用	59	0.1%	<b>16</b>	0.0%	-73.1%	-43
経常利益	18,281	16.4%	<b>15,490</b>	13.7%	-15.3%	-2,791
特別利益	237	0.2%	<b>4,505</b>	4.0%	+1799.4%	+4,268
特別損失	205	0.2%	<b>2,434</b>	2.2%	+1085.8%	+2,229
税金等調整前 当期純利益	18,312	16.4%	<b>17,561</b>	15.5%	-4.1%	-751
法人税・住民税 及び事業税	5,095	4.6%	<b>4,712</b>	4.2%	-7.5%	-383
法人税等調整額	1,191	1.1%	<b>785</b>	0.7%	-34.1%	-406
当期純利益	12,025	10.8%	<b>12,064</b>	10.7%	+0.3%	+39

## <当期のポイント>

### ◆原価率：前年比2.6ポイント上昇

(38.6%→41.2%)

【上昇要因】薬価改定(杏林製薬:本体薬価ベース6%台)、  
製品売上構成の変化(含む後発品の売上ウェイト上昇)

### ◆研究開発費率：前年比1.7ポイント上昇

(10.2%→11.9%)

\* 114億円→135億円(21億円増加)  
(KRP-114V契約一時金、開発パイプラインの進展)

### ◆販管費率(除くR&D費)：前年比1.6ポイント低下

(35.4%→33.8%)

\* 394億円→383億円(11億円減少)  
販売費等の減少

### ■営業利益 14,737百万円 (-2,870百万円)

\* 営業利益率は13.0%と2.8ポイント低下

### ■当期純利益 12,064百万円 (+39百万円)

### ■配当

52円00銭/株(うち、中間配当20円/株)

配当性向32.2%

# 貸借対照表の概要：連結

(単位：百万円)

	14年3月期末	
	実績	構成比
<b>流動資産</b>	121,638	71.8%
現金及び預金	31,017	—
受取手形及び売掛金	44,123	
有価証券	17,965	
棚卸資産	21,699	
その他流動資産	6,833	
<b>固定資産</b>	47,740	28.2%
有形固定資産	20,841	—
無形固定資産	1,198	
投資その他	25,700	
<b>資産合計</b>	169,378	100.0%

<b>流動負債</b>	28,401	16.8%
支払手形及び買掛金	11,056	—
その他流動負債	17,344	
<b>固定負債</b>	3,155	1.9%
<b>負債合計</b>	31,557	18.6%
<b>株主資本</b>	135,273	79.9%
<b>その他の包括利益累計額</b>	2,548	1.5%
その他有価証券評価差額金	3,434	—
為替換算調整勘定	12	
退職給付に係る調整累計額	-898	
<b>純資産合計</b>	137,821	81.4%
<b>負債及び純資産合計</b>	169,378	100.0%

15年3月期末		
実績	構成比	前期末増減
<b>129,064</b>	<b>70.4%</b>	<b>+7,426</b>
30,652	—	—
47,007		
17,867		
25,929		
7,607		
<b>54,318</b>	<b>29.6%</b>	<b>+6,578</b>
19,374	—	—
1,184		
33,760		
<b>183,383</b>	<b>100.0%</b>	<b>+14,005</b>

<b>27,773</b>	<b>15.1%</b>	<b>-628</b>
11,259	—	—
16,513		
<b>7,009</b>	<b>3.8%</b>	<b>+3,854</b>
<b>34,782</b>	<b>19.0%</b>	<b>+3,225</b>
<b>140,518</b>	<b>76.6%</b>	<b>+5,245</b>
<b>8,082</b>	<b>4.4%</b>	<b>+5,534</b>
7,798	—	—
168		
115		
<b>148,600</b>	<b>81.0%</b>	<b>+10,779</b>
<b>183,383</b>	<b>100.0%</b>	<b>+14,005</b>

## <当期のポイント>

### ■ 流動資産：+7,426百万円

- ・現金及び預金の減少 ( -365百万円)
- ・受取手形及び売掛金の増加 (+2,884百万円)
- ・有価証券の減少 ( -98百万円)
- ・棚卸資産の増加 (+4,230百万円)

### ■ 固定資産：+6,578百万円

- ・有形固定資産の減少 (-1,467百万円)
- ・無形固定資産の減少 ( -14百万円)
- ・投資その他の増加 (+8,060百万円)

### ■ 流動負債：-628百万円

- ・支払手形及び買掛金の増加 ( +203百万円)
- ・その他流動負債の減少 ( -831百万円)

### ■ 固定負債：+3,854百万円

# 主な業績項目の推移：連結

(単位:百万円)	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期 (予想)
売上高 (海外売上)	104,069 (2,784)	103,232 (2,015)	107,031 (2,400)	111,400 (1,849)	<b>113,121</b> <b>(1,032)</b>	<b>120,200</b> <b>(1,000)</b>
売上原価 (売上原価率)%	37,554 (36.1%)	36,926 (35.8%)	40,133 (37.5%)	43,047 (38.6%)	<b>46,598</b> <b>(41.2%)</b>	—
販売費及び一般管理費 (販管費率)%	50,071 (48.1%)	51,842 (50.2%)	48,949 (45.7%)	50,744 (45.6%)	<b>51,785</b> <b>(45.8%)</b>	—
うち研究開発費 (研究開発費率)%	12,495 (12.0%)	13,964 (13.5%)	11,059 (10.3%)	11,359 (10.2%)	<b>13,514</b> <b>(11.9%)</b>	<b>13,400</b> <b>(11.1%)</b>
営業利益 (営業利益率)%	16,443 (15.8%)	14,464 (14.0%)	17,948 (16.8%)	17,607 (15.8%)	<b>14,737</b> <b>(13.0%)</b>	<b>16,000</b> <b>(13.3%)</b>
経常利益 (経常利益率)%	17,110 (16.4%)	15,275 (14.8%)	18,676 (17.4%)	18,281 (16.4%)	<b>15,490</b> <b>(13.7%)</b>	<b>16,300</b> <b>(13.6%)</b>
当期純利益 (当期純利益率)%	10,927 (10.5%)	9,231 (8.9%)	12,422 (11.6%)	12,025 (10.8%)	<b>12,064</b> <b>(10.7%)</b>	<b>11,500</b> <b>(9.6%)</b>
一株当たり当期利益(円)	146.21円	123.54円	166.25円	160.95円	<b>161.63円</b>	<b>155.51円</b>
資本金	700	700	700	700	<b>700</b>	—
総資産	147,234	145,673	154,968	169,378	<b>183,383</b>	—
株主資本	112,076	117,931	126,985	135,273	<b>140,518</b>	—
純資産	111,706	118,201	129,099	137,821	<b>148,600</b>	—
一株当たり純資産(円)	1,494.83円	1,581.94円	1,727.86円	1,844.61円	<b>2,009.45円</b>	—
自己資本利益率%	10.1%	8.0%	10.0%	9.0%	<b>8.4%</b>	—
自己資本比率%	75.9%	81.1%	83.3%	81.4%	<b>81.0%</b>	—
人員(人)	2,294人	2,297人	2,444人	2,452人	<b>2,445人</b>	—
設備投資	1,668	1,952	6,576	6,500	<b>2,655</b>	<b>8,700</b>
減価償却費	2,458	2,363	2,738	3,153	<b>3,053</b>	<b>3,800</b>

# 2015年3月期実績と2016年3月期予想

(単位:百万円)

	14年3月期 (実績)	15年3月期 (実績)	16年3月期 (予想)	対前年	
				増減額	増減率(%)
売上高	111,400	113,121	<b>120,200</b>	+7,079	+6.3
医薬品事業	109,678	111,771	<b>118,600</b>	+6,829	+6.1
◆新医薬品	93,518	92,111	<b>95,700</b>	+3,589	+3.9
○国内	91,668	91,079	<b>94,700</b>	+3,621	+4.0
○海外	1,849	1,032	<b>1,000</b>	-32	-3.1
◆後発医薬品	11,987	15,477	<b>18,200</b>	+2,723	+17.6
◆一般用医薬品他	4,172	4,183	<b>4,500</b>	+317	+7.6
ヘルスケア事業 (スキンケア)	1,721	1,349	<b>1,600</b>	+251	+18.5
営業利益	17,607	14,737	<b>16,000</b>	+1,263	+8.6
経常利益	18,281	15,490	<b>16,300</b>	+810	+5.2
当期純利益	12,025	12,064	<b>11,500</b>	-564	-4.7

# 損益計算書の概要：杏林製薬一①

(単位:百万円)

	14年3月期		15年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	97,662	100.0%	<b>98,452</b>	100.0%	+0.8%	<b>+790</b>
医薬品事業	97,662	100.0%	<b>98,452</b>	100.0%	+0.8%	<b>+790</b>
◆新医薬品	89,846	92.0%	<b>88,852</b>	90.2%	-1.1%	<b>-994</b>
○国内	88,196	90.3%	<b>88,012</b>	89.4%	-0.2%	<b>-184</b>
○海外	1,650	1.7%	<b>840</b>	0.9%	-49.1%	<b>-810</b>
◆後発医薬品	4,821	4.9%	<b>6,404</b>	6.5%	+32.8%	<b>+1,583</b>
◆一般用医薬品他	2,994	3.1%	<b>3,195</b>	3.2%	+6.7%	<b>+201</b>

## <当期のポイント>

対前年

- 売上高 **98,452百万円** ( +790百万円)
- 国内新医薬品 **88,012百万円** ( -184百万円)
 

	14.3実績		15.3実績	
				(億円)
・キプレス	402	⇒	412	(+10)
・ムコダイン	184	⇒	140	(-44)
・ペンタサ	186	⇒	172	(-14)
・ウリトス	81	⇒	73	(-8)
・フルティフォーム	6	⇒	36	(+30)
- 海外新医薬品 **840百万円** ( -810百万円)
 

・ガチフロキサシン	15	⇒	6	(-9)
-----------	----	---	---	------
- 後発医薬品 **6,404百万円** (+1,583百万円)
  - ・キョーリンリメディオ製品の売上増
- 一般用医薬品他 **3,195百万円** ( +201百万円)
 

・ミルトン	21	⇒	20	(-1)
・ルビスタ	2	⇒	5	(+3)

# 損益計算書の概要：杏林製薬②

(単位:百万円)

	14年3月期		15年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年差額
売上高	97,662	100.0%	<b>98,452</b>	100.0%	+0.8%	<b>+790</b>
売上原価	35,119	36.0%	<b>38,951</b>	39.6%	+10.9%	<b>+3,832</b>
売上総利益	62,543	64.0%	<b>59,501</b>	60.4%	-4.9%	<b>-3,042</b>
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	47,175 (11,064)	48.3% (11.3%)	<b>47,349</b> <b>(12,843)</b>	48.1% (13.0%)	+0.4% +16.1%	<b>+174</b> <b>+1,779</b>
営業利益	15,368	15.7%	<b>12,151</b>	12.3%	-20.9%	<b>-3,217</b>
営業外収益	909	0.9%	<b>964</b>	1.0%	+6.1%	<b>+55</b>
営業外費用	46	0.0%	<b>0</b>	0.0%	-99.2%	<b>-46</b>
経常利益	16,230	16.6%	<b>13,115</b>	13.3%	-19.2%	<b>-3,115</b>
特別利益	235	0.2%	<b>4,505</b>	4.6%	+1810.4%	<b>+4,270</b>
特別損失	52	0.1%	<b>2,405</b>	2.4%	+4521.7%	<b>+2,353</b>
税引前当期純利益	16,414	16.8%	<b>15,215</b>	15.5%	-7.3%	<b>-1,199</b>
法人税・住民税 及び事業税	4,496	4.6%	<b>3,998</b>	4.1%	-11.1%	<b>-498</b>
法人税等調整額	1,094	1.1%	<b>804</b>	0.8%	-26.5%	<b>-290</b>
当期純利益	10,823	11.1%	<b>10,412</b>	10.6%	-3.8%	<b>-411</b>

## <当期のポイント>

◆原価率：前年比3.6ポイント上昇  
(36.0%→39.6%)

【上昇要因】薬価改定(杏林製薬:本体薬価ベース6%台)、  
製品売上構成の変化(含む後発品の売上ウェイト上昇)

◆研究開発費率：前年比1.7ポイント上昇  
(11.3%→13.0%)

\* 111億円→128億円(17億円増加)  
(KRP-114V契約一時金、開発パイプラインの進展)

◆販管費率(除くR&D費)：前年比2.0ポイント低下  
(37.0%→35.0%)

■営業利益 12,151百万円(-3,217百万円)

\* 営業利益率は12.3%と3.4ポイント低下

■当期純利益 10,412百万円(-411百万円)

# 貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位:百万円)

	14年3月期末	
	実績	構成比
<b>流動資産</b>	92,209	70.4%
現金及び預金	15,098	
売掛金	40,133	
有価証券	14,302	—
棚卸資産	17,969	
その他流動資産	4,705	
<b>固定資産</b>	38,788	29.6%
有形固定資産	13,992	
無形固定資産	385	—
投資その他	24,410	
<b>資産合計</b>	130,997	100.0%

15年3月期末		
実績	構成比	前期末増減
<b>97,822</b>	<b>68.4%</b>	<b>+5,613</b>
<b>14,587</b>		
<b>43,220</b>		
<b>12,804</b>	—	—
<b>21,763</b>		
<b>5,447</b>		
<b>45,145</b>	<b>31.6%</b>	<b>+6,357</b>
<b>12,324</b>		
<b>376</b>	—	—
<b>32,444</b>		
<b>142,967</b>	<b>100.0%</b>	<b>+11,970</b>

<b>流動負債</b>	20,446	15.6%
支払手形及び買掛金	7,473	
その他流動負債	12,973	—
<b>固定負債</b>	944	0.7%
<b>負債合計</b>	21,391	16.3%
<b>株主資本</b>	106,211	81.1%
評価・換算差額等	3,394	2.6%
<b>純資産合計</b>	109,606	83.7%
<b>負債及び純資産合計</b>	130,997	100.0%

<b>20,958</b>	<b>14.7%</b>	<b>+512</b>
<b>8,323</b>		
<b>12,635</b>	—	—
<b>3,762</b>	<b>2.6%</b>	<b>+2,818</b>
<b>24,720</b>	<b>17.3%</b>	<b>+3,329</b>
<b>110,534</b>	<b>77.3%</b>	<b>+4,323</b>
<b>7,712</b>	<b>5.4%</b>	<b>+4,318</b>
<b>118,246</b>	<b>82.7%</b>	<b>+8,640</b>
<b>142,967</b>	<b>100.0%</b>	<b>+11,970</b>

## <当期のポイント>

### ■流動資産： +5,613百万円

- ・現金及び預金の減少 ( -511百万円)
- ・売掛金の増加 (+3,087百万円)
- ・有価証券の減少 (-1,498百万円)
- ・棚卸資産の増加 (+3,794百万円)

### ■固定資産： +6,357百万円

- ・有形固定資産の減少 (-1,668百万円)
- ・無形固定資産の減少 ( -9百万円)
- ・投資その他の増加 (+8,034百万円)

### ■流動負債： +512百万円

- ・支払手形及び買掛金の増加 (+850百万円)
- ・その他流動負債の増加 (-338百万円)

### ■固定負債： +2,818百万円

# 主な業績項目の推移：杏林製薬

(単位:百万円)	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期 (予想)
売上高 (海外売上)	92,531 (2,642)	93,697 (1,904)	95,894 (2,277)	97,662 (1,650)	<b>98,452 (840)</b>	<b>105,300 (700)</b>
売上原価 (売上原価率)%	31,227 (33.7%)	32,046 (34.2%)	33,868 (35.3%)	35,119 (36.0%)	<b>38,951 (39.6%)</b>	—
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	45,658 (49.3%)	47,679 (50.9%)	44,898 (46.8%)	47,175 (48.3%)	<b>47,349 (48.1%)</b>	—
うち研究開発費 (研究開発费率)%	11,867 (12.8%)	13,472 (14.4%)	10,733 (11.2%)	11,064 (11.3%)	<b>12,843 (13.0%)</b>	<b>12,700 (12.1%)</b>
営業利益 (営業利益率)%	15,645 (16.9%)	13,971 (14.9%)	17,127 (17.9%)	15,368 (15.7%)	<b>12,151 (12.3%)</b>	<b>13,300 (12.6%)</b>
経常利益 (経常利益率)%	16,729 (18.1%)	15,126 (16.1%)	18,209 (19.0%)	16,230 (16.6%)	<b>13,115 (13.3%)</b>	<b>13,800 (13.1%)</b>
当期純利益 (当期純利益率)%	10,732 (11.6%)	9,274 (9.9%)	11,931 (12.4%)	10,823 (11.1%)	<b>10,412 (10.6%)</b>	<b>10,000 (9.5%)</b>
一株当たり当期利益(円)	144.51円	124.88円	160.66円	145.74円	<b>140.20円</b>	—
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	<b>4,317</b>	—
総資産	122,661	121,985	121,881	130,997	<b>142,967</b>	—
株主資本	95,719	101,652	100,586	106,211	<b>110,534</b>	—
純資産	95,573	102,177	102,844	109,606	<b>118,246</b>	—
一株当たり純資産(円)	1,286.87円	1,375.79円	1,384.77円	1,475.82円	<b>1,592.16円</b>	—
自己資本利益率%	11.2%	9.4%	11.6%	10.2%	<b>9.1%</b>	—
自己資本比率%	77.9%	83.8%	84.4%	83.7%	<b>82.7%</b>	—
人員(人)	1,804人	1,798人	1,797人	1,780人	<b>1,771人</b>	—
設備投資	1,019	1,425	1,507	4,763	<b>1,125</b>	<b>6,100</b>
減価償却費	1,968	1,790	1,743	1,743	<b>1,667</b>	<b>2,200</b>